

躍動



2011年1月

第 2号

地域医療連携室だより

新年明けましておめでとうございます。



新年のごあいさつ



院長 熊澤 光生

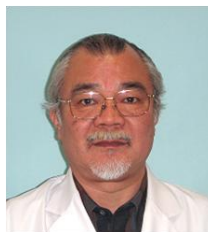


当院は石和町立より上尾中央医科グループへ経営委譲されて8年、新築移転して4年半を経過しました。

この間、笛吹市民をはじめとして医療・介護・福祉機関の方々より温かいご支援をいただき、理念とする「信頼される病院」へ歩み始めることができました。

理念を目指して、職員一同なお一層励む所存です。

副院長 金城 正佳



明けましておめでとうございます。

昨年は、期待した新政権に肩透かしを食らったと思うのは私一人でしょうか？

さて、開院以来当院は室の高い医療の提供を心掛けて来ました。内視鏡下外科手術の治療範囲は確実に広がり、整形外科では関節鏡下手術を導入、また小児科の新規開設など提供できる医療の質・幅ともに広がったと自負しています。今年度は整形外科診療のさらなる充実を考えております。

事務長 石川 雄一



新年あけましておめでとうございます。

全国的に医師不足など社会問題化している中で昨年は念願の小児科を開設することができました。今後につきましても医療・福祉を取り巻く環境は更に厳しくなることが予想されますが、どのような状況になりましても柔軟に対応できるよう診療・看護体制の強化を図り、安全で質の高い医療を提供してまいります。

本年も笛吹中央病院を宜しくお願い申し上げます。

看護部長 雨宮 栄子



新年あけましておめでとうございます。

日本の医療現場では、医療技術の進歩、IT化、安全対策、患者さん中心のサービスの向上、高齢化に伴うケアニーズの増大と緊張感はますます高まっております。そのため、多様なニーズに対応できる柔軟性、自律性が看護にも求められております。今年も地域の皆様信頼される病院として、患者さん一人ひとりの人間性を尊重し、患者さんの視点に立った優しい心のこもった看護を提供してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

4月より整形外科常勤医着任のお知らせ

昭和53年3月 長崎大学医学部卒業



〈所属学会〉

- ・国際足の外科学会 ・国際 ASAMI ・日本整形外科学会 ・日本足の外科学会
- ・日本靴医学会・日本創外固定 ・骨延長学会 ・日本イリザロフ法研究会
- ・日本小児整形外科学会 ・日本骨折治療学会 ・九州膝関節研究会
- ・中部日本整形災害外科学会 ・西日本整形災害外科学会

寺本司医師

〈主な学会活動〉

- ・日本足の外科学会幹事 ・日本靴医学会副理事長 ・日本創外固定・骨延長学会幹事
- ・日本イリザロフ法研究会世話人 ・九州膝関節研究会幹事 ・長崎足の外科研究会代表幹事
- ・長崎イリザロフ法研究会代表幹事 ・第14回日本靴医学学会会長(2000年長崎)
- ・第32回日本足の外科学会会長(2007年長崎) ・第6回日英足の外科学会会長(2007年神戸)

〈認定医〉

- ・日本整形外科学会認定医 ・日本整形外科学会スポーツ認定医

内視鏡外科道場“アミーサ”で第20回トレーニングセミナーへ参加

○当院より消化器外科 石井医師が参加されました。



2010年12月11日、なぜか道場の日は快晴が多い。うらめしく青空を眺めながら道場のカーテンを閉めた。狭い部屋に集まってくれたのはベテランの境地に入ろうとしている石井先生(写真向かって左)と若きホープ裏川先生(写真右)だ。石井先生はすでに技術認定医を取得しているが、技術にブラシをかけるとともにモチベーションを高めに来られた。そういうひとにはもっと上手くなってほしいので、きびしい運針や上級編の練習だ。難しくなればなるほど、石井先生は生き生きとしてタスクに取り組んでいた。裏川先生はマイボックスを持っているというくらいの縫合好き。それでも新しいことが多かったみたいで、新鮮な驚きを感じているようだった。ピアノやスポーツをやっていたせいか、軸はずしの突飛なタスクもすぐに身につけクリアしていた。右脳がかなり発達しているのかも。今回は加えてビデオ閲覧の要望がとても多かった。道場始まって以来の長時間ビデオ上映だったと思います。お二人ともすごい集中力。お疲れ様でした。



〈石井医師より一言〉

ひとえに楽しかったの一言です。単に縫合の技術論を学び、縫合の練習をするのではなく、内視鏡外科全般のノウハウや上達するためのコツ、あるいは個別の症例の無編集ビデオ供覧など様々な観点から内視鏡外科医としてこれから必要なことのヒントを頂いたと思います。特に右脳を鍛える理論は衝撃でした。もちろん、本題の縫合練習は楽しく、今後の課題を与えてくれるものでした。毎日、練習を欠かさず行い、手術見学に伺った時に成長した縫合を見て頂けるように頑張ります。また、よろしくお願い致します。



乳がん ～定期健診で早期発見～

乳がんは日本女性のがんの中で最も罹患率が高く、毎年3万5千人以上の方が発症しています。発症の年齢は30代後半から増え始め40代後半にピークを迎えます。

乳がんの主な症状は「しこり」「皮膚の異常」「分泌物」「わきの下の腫れ」です。

しこりは最も重要な症状ですが、はっきりとわからなくても「何となく片方の乳房がこれまでと違う」と感じたら医師に相談しましょう。

また内側にかんができることで皮膚が引っ張られ、えくぼのようなくぼみができたり、乳頭のただれや皮膚のごわつきが現れることもあります。更に乳頭から血液が混じった茶褐色の分泌物がでたら要注意です。わきの下のリンパ節にかんが転移すると、わきの下に違和感を覚えたり腫れが生じます。

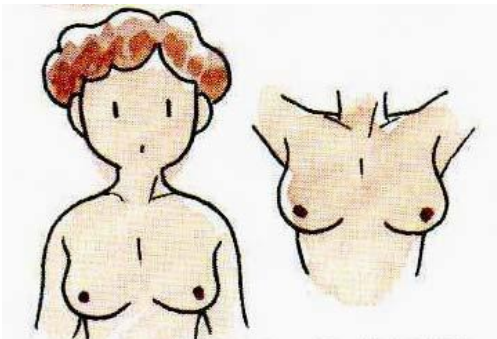
また自己触診で普段の身体の状態を知っておくことも早期発見につながります。

毎月1回、月経終了後の5～7日間の覚えやすい日を決め行いましょう。

〈自分で行う視診〉

鏡の前に立ち、乳房や乳頭の形、色、位置、皮膚の異常を確認。

腕を上げた状態でも観察する。



〈自分で行う触診〉

外側から内側へ、力を入れず、優しく触ってみる。

また乳房から内分泌がでないか、脇の下にしこりがないかも確認する。



「乳がんの画像診断」

～マンモグラフィーをご存知ですか？～

放射線技師による撮影と医師による視診・触診・画像診断を当院にて行っております。

画像診断には超音波検査とマンモグラフィーという乳房のエックス線検査があります。マンモグラフィーは乳房を上下・左右から撮影板で挟んで撮影をします。これによって視触診ではわからない小さな早期がんも発見できます。しかし、発達した乳腺組織が白く映り、同じように白く映るがんを見逃すことがあります。超音波ではそういった乳腺組織の発達に画像が左右されることがありません。両方の長所を活かし、より確実な結果を得るためにマンモグラフィーと超音波検査の両方を受けることをお勧めします。



外来診療担当医表 平成 23 年 2 月 1 日～

★受付時間:午前 8:00～12:30 午後 13:30～17:00

★診察時間:午前 9:00～13:00 午後 14:00～17:30

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	山口 北村教授 (山梨大学)	福田／大久保 辰巳 (山梨大学)	三枝／大久保 田草川 (循環器内科)	福田 山口	小林 岩尾 (山梨大学)	三枝／小林 尾崎教授 (山梨大学) *予約制
	午後	大久保 北村教授 (受付 15:30 まで)	山口 (呼吸器) 三森 (山梨大学)	福田 (肝臓病) 中嶋 (山梨大学)	小林 大久保	三枝 西岡 (第 2 休診日)	
外科	午前	長沼 石井	金城	石井 (一般外来/ 胆石・腹腔鏡外科)	金城	西山	第 1.3 担当医 第 2.4 石井
	午後	西山	(手術日)	西山 (一般外来/ ヘルニア)	長沼	(手術日)	
整形外科	午前	阪口	時吉 寺尾 (リハ問診)	時吉	時吉 (受付 11:30 まで)	阪口	小林 齋藤 (リハ問 診)
	午後	阪口	時吉 寺尾 (リハ問診)	(手術日)	(手術日)	阪口	
小児科	午前	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	磯貝
	午後	磯貝	磯貝	磯貝		磯貝	
	14:00～ 15:00	予防接種・乳幼児健診予約制					予防接種・乳幼児 健診予約制
眼科	午前	深澤	深澤	今井 (山梨大学) (受付 11:30 まで)	深澤	深澤	深澤
	午後	(手術日)	深澤*予約制		深澤*予約制	深澤*予約制	
耳鼻科	午前	中澤 (受付 11:30 まで)		中澤 (受付 11:30 まで)		中澤 (受付 11:30 まで)	診療開始時間 9:30 から
	午後	補聴器外来 (不定期・月 2 回* 予約制)					
脳外	午前	山梨大学 (受付 11:30 まで)	三枝 (頭痛外来)	三枝			
	午後					三枝	
皮膚	午前			水越	水越	水越	水越
	午後	水越		(手術日)	水越 (診療開始 15:30) から		
禁煙/緩和ケア 午前							熊澤 *予約制

☆地域医療連携室よりご挨拶☆

新年あけましておめでとうございます。

本年も、基本方針に「地域医療・福祉機関との緊密な連携」を掲げ、近隣医療・福祉機関と「顔の見える安心する連携・頼られる連携」を目指し、日々努力していきたいと思っております。

何かとご迷惑かける事もあるかと思いますが、本年もご指導ご鞭撻

お問い合わせ先 地域医療連携室 スタッフ 三枝・小池

電話番号 055-262-2185 (病院代表)

055-262-2186 (連携室直通)

お電話でのご相談もお受けしています。お気軽にご連絡下さい。

受付相談時間 : 平日 9 時～17 時

(土曜日は 12 時までとなっております。事前にお問い合わせ下さい。)

★編集後記★

厳しい寒さの中にも、福寿草が微笑んでくれる季節となりました。この寒さどのようにお過ごしですか。風邪予防には栄養・休養・体力づくりですかね。さて、『躍動』第 2 号の発行となりました。今後も宜しく願いいたします。